

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：山本・永島]
TEL：0853-22-6772
FAX：0853-24-3342

平成24年度 病害虫発生予察情報 特殊報第2号（新病害発生情報）

平成24年10月15日
島根県

【概況】

平成24年6月、島根県農業技術センター（出雲市）内のナシ園（品種：幸水）において、葉の波打ちや小形化、葉縁の黒変症状を示す樹が1本確認された（図1）。3本の主枝の内1本で本症状が認められ、その主枝の基部を切断したところ、内部に腐朽が確認された（図2）。そこで、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所に診断を依頼したところ、*Fomitiporia* sp.による萎縮病であることが判明した。県内の発生状況については、現在、調査中である。

なお、本症状は日本各地でかなり以前より報告されていたが、長年原因が不明であった。平成23年に*Fomitiporia* sp.による病害であることが千葉県で判明している。

- 1 病害虫名 ナシ萎縮病
- 2 病原名 *Fomitiporia* sp.
- 3 作物名 ナシ
- 4 発生場所 出雲市
- 5 発生生態

1) 病徴

春先の展葉直後の葉に波打ちや小形化、葉縁の黒変症状を、また果実では小形化、奇形を引き起こす。初め枝単位で症状が現れるが、症状が激しくなると他の枝にも症状が現れ、最終的には樹全体の枯死に至る。そのような症状のある主幹や主枝の内部には腐朽がみられる。

2) 伝染経路

子実体から飛散する担子胞子が伝染源であると考えられる（図3）。

3) 宿主植物

*Fomitiporia*属菌は多犯性であり、多くの樹種に材質腐朽を引き起こすと考えられる。

6 感染しやすい樹体の特徴

- 1) 多くの品種で発生が確認されているが、特に幸水が多い。
- 2) 老木で発生が多い。

7 防除対策

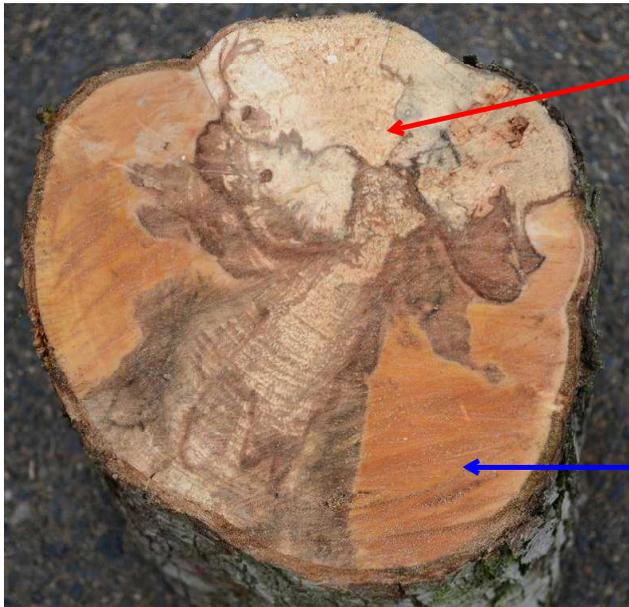
- 1) 子実体を見つけたら子実体を除去する。
- 2) 枯死枝、切株を園内に放置せずに処分する。

8 その他

疑わしい症状が発生している場合は、病害虫防除所（0853-22-6772）に連絡する。



図1 ナシ萎縮病（葉の波打ち、小形化、葉縁の黒変）



腐朽部

健全部

図2 主枝内部の腐朽



*子実体とは、胞子を形成するためにつくられる構造で、いわゆる「きのこ」と呼ばれている。*Fomitiporia* sp.の子実体は傘を形成せず、枝幹上に張り付くような形をしている。

子実体

図3 子実体

写真提供：（独）農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所